



日本筆記具工業会

〒116-0013
東京都荒川区西日暮里 2-30-6
TEL03-3891-6161 FAX03-3892-9692
発行:日本筆記具工業会 調査研究広報委員会
URL <http://www.jwima.org>

ボールペン部会が「ISO国際提案の進め方勉強会」を実施！

講師 財団法人日本規格協会 国際標準化支援部 国際支援課長

9月17日(木)鉛筆会館にてJWIMAボールペン部会の「ISO国際提案の進め方勉強会」を開催しました。

JWIMAは、平成18年からゲルインキボールペンのISO提案活動を行い、本年2月に無事ISO規格制定・発行できたのですが、国際提案に関する活動の専門家がいたわけではなく、手探りに近い状態で進めてきました。

活動に一区切りがついたところで、ISO国際提案の手続きに関してあらためてレクチャーを受け、この機会に正しく理解をしておきたいと(財)日本規格協会から講師を派遣していただき勉強会を実施しました。

講師は、(財)日本規格協会国際標準化支援部国際支援課長の北川順久氏と同標準化教育普及室の中久木隆治氏で、この日は呼びかけに応じて出席したマーキングペン部会員も含め17名が受講しました。

内容としては、「TC/SC/WGの役割及び運営」、「国際規格開発の手順」、「投票に関するまとめ」、「国際会議対応」、「規格作成」など。講義を一通り伺って断片的だった知識や経験が体系付けられた感がありました。ISO提案活動について経験のない会員の参加もあり、専門用語(略語・略称が多い)をある程度聞きなれていないと、とっつきにくく難しかったようですが、ご苦労様でした。

今後も各委員会・部会単位で、それぞれの要望に応じて、今回のようなミニ研修会を実施していきたいと思えます。(事務局)



ゲルインキボールペンは我が国が世界に先駆けて開発・製品化したもので、技術面でも世界をリードしています。国内にはすでにゲルインキの特性を規定したJISが制定されましたが、これに対応する国際規格がないのが現状で、JISをベースにしたISO(国際標準化機構)規格の制定に、我が国が積極的な働きかけを行ってきました。その活動を担ってきたのがJWIMAの技術国際委員会です。

2006年から、直接の審議機関となるISO/TC10のPメンバー(投票権国)により、我が国の提案を登録することについての、いわば予備投票のような投票を経て、以降、活動は本格化しました。そして先のJWIMAニュース27号で国際標準提案事業委員会 西本洋二氏の報告でお知らせしたとおり、2009年2月1日付でFirst editionが無事発行されました。ゲルインキボールペンISO規格「ISO 27668-1 and 2」が我ら日本が規格化に成功したISO規格です。

21年第3四半期委員会活動報告 (平成21年8月1日～10月31日)

<総務 関係>

8.19 書育推進協議会設立打合せ会(第4回)

- ・文字・活字文化推進機構との協議報告
- ・推進協議会の設立について
- ・教材開発について
- ・イベント企画について

8.28 書育検討小委員会(第3回)

- ・「書育」総合学習教材開発の経過報告
- ・教材のコンテンツについて
- ・「書育推進協議会」関係報告について

9.28 書育推進協議会設立打合せ会(第5回)

- ・教材開発についての経過報告
- ・イベント企画について
- ・情報発信について

10.5 書育検討小委員会(第4回)

- ・「書育」総合学習教材開発について
- ・「書育推進協議会」関係の報告について

10.6 総務委員会(第3回)

- ・行事関係報告について
- ・平成21年度第4回理事会運営について
- ・総務委員会21年度上期活動報告について
- ・本工業会上期収支報告について
- ・理事退任の件について
- ・「書育」活動報告について

<調査研究・広報 関係>

10.7 調査研究・広報委員会(第1回)

- ・09技術交流会の反省と次回開催について
- ・21年度下期活動について

<流通 関係>

9.10 お客様相談窓口連絡会(第2回)

- ・各社のお客様対応事例について
- ・ボールペンお役立ち情報の見直しについて

9.18 流通小委員会(第1回)

- ・2009年カタログ協賛実態調査について
- ・カーボソフットプリント制度の動向の情報交換

<技術国際 関係>

8.7 シャープペンシル部会(第1回)

- ・JIS S 6013(シャープペンシル)改正審議結果報告について
- ・その他

8.18 マーキングペン部会(第2回)

- ・ラインマーカー(蛍光ペン)業界基準の作成について
- ・ISO/TC10/WG18への出席報告
- ・その他

9.17 ボールペン部会(第1回)

- ・ISO/TC10/WG18国際会議(箱根)の報告
- ・JIS S 6061(ゲルインホ-ルペン及びレフィル)規格調整分科会結果報告
- ・国際標準提案事業進め方勉強会

9.29 事務用修正液部会(第3回)

- ・JIS S 6055(事務用修正液)の見直しについて
- ・修正テープ規格化についての審議

10.2 マーキングペン部会(第3回)

- ・BS 7272-1:2008適用範囲に対する日本案の検討について
- ・ラインマーカー(蛍光ペン)業界基準の作成について
- ・その他

10.6 技術国際委員会(第1回)

- ・国際標準提案活動報告について
- ・20年度上期各部会活動報告ならびに下期活動予定について

10.30 ISO/TC10国内体制打合せ

- ・22年1月国際会議旅費支援について
- ・22年度TC10国内対策委員会の体制について

<JIS改正 関係>

8.4 ゲルインホ-ルペンJIS規格調整分科会(第1回)

- ・JIS S 6061(ゲルインホ-ルペン及びレフィル)改正原案についての確認調整

<全文協との共催 関係>

- 10.30 文具・時計・玩具三団体による知的財産権問題交流会

第6回「JWIMA 会員研修会」実施

第1部「カーボンフットプリント制度」 第2部「化審法・化管法改正」
講師に経済産業省の専門官を招いて

JWIMAは、情報共有による会員全体の発展向上を目的に第6回「会員研修会」を10月27日午後1時半から東京・柳橋のベルモントホテルで開催しました。講師は経済産業省の専門官の皆さんで、第1部は「カーボンフットプリント制度」、第2部は「化審法・化管法改正」について学びました。ほぼ満席の70名の出席を得ました。

開会に先立って春田専務理事が、「今回は新制度を総合的・体系的に理解するために経済産業省の協力で開催することができた。それぞれの事業活動に役立ててほしい。研修会終了後には懇親会で親交を深めたい」と挨拶しました。



カーボンフットプリント制度について
- はじまります。商品の「CO₂見える化」 -
経済産業省 商務流通グループ 流通政策課
中村大紀課長補佐さん

カーボンフットプリント制度とは、製品(サービス含む)のライフサイクル全般(原料調達から廃棄・リサイクルまで)で排出された温室効果ガスを、地球温暖化に与える影響の程度によりCO₂相当量に換算し、表示する制度です。背景には国際的に高まっている温室効果ガス排出量の「見える化」による地球温暖化対策があります。

2009年10月現在44製品について「商品種別算定基準」原案作成計画が登録済みで、筆記具、紙製品、文具類も対象製品にあがっています。すでに国産米、食用油、洗剤の原案は認定され、制度がスタートしています。文具類はおおよそ2年後に導入される予定です。

■カーボンフットプリント制度の詳しい内容は
<http://www.cfp-japan.jp/>

始まる！化学物質の新たなリスク管理
～化審法・化管法の改正～
経済産業省 製造産業局 化学物質管理課
小高篤志法規係長さん

化学物質はペンやマーカーにも使用されていて、生活を豊かにしてくれています。一方、この化学物質は使用方法によっては健康や環境を脅かすこともあります。そのため化学物質を適切に管理をしていこうというのがこれら法律の主旨です。

「化審法」とは、「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律」の略称で、また、「化管法」は「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」であります。(中略)

「改正化審法」の概要は、主に2つの柱からなります。は既存化学物質対策、は国際的整合性の確保です。既存化学物質対策は、既存化学物質を

含むすべての化学物質について、一定数量以上製造・輸入した事業者に対して、その数量等の届出を新たに義務付け。国は届出を受けて、人の健康等に与える影響を段階的に評価。その結果により、有害化学物質及びその含有製品を製造・使用規制等の対象とする。国際的整合性の確保は、国際条約で新たに規制対象ら追加される物質について、厳格な管理の下で使用できるようにする、としています。

「化管法」はP R T RとM S D S制度を柱に化学物質に、事業者による化学物質の自主的な管理の改善を促進し、環境の保全上の支障を未然に防ぐことを目的とした法律です。

■化審法改正の詳しい内容は
http://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/ksinhou/index.html

■化管法の改正の詳しい内容は
http://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/law/index.html

JWIMA 会員研修会アンケート 2001年10月27日実施

カーボンフットプリント制度		化審法・化管法改正	
難しかった	6名	難しかった	28名
ちょうどよかった	39名	ちょうどよかった	22名
もの足りなかった	11名	もの足りなかった	3名

今後の講座内容についての希望

- ・欧州安全規制の動向について 31名
- ・エコマーク、グリーン購入法、国内環境商品基準の動向について 30名
- ・米国の安全規制の動向について 27名
- ・統計データから見る筆記具業界分析について 24名 他

JWIMA 講演会・年末懇親会 12月2日実施

会期 平成21年12月2日(水)午後5時から
 会場 上野精養軒
 講師 小俣雅子さん(アナウンサー、エッセイスト)

ことしの「JWIMA 講演会・懇親会」は12月2日(水)に開催いたします。講演会は夕刻5時から、懇親会は6時20分からを予定しています。皆様のご参加を待ちしています。
 今回の講演会講師は、“AMラジオの女王”と呼ばれている小俣雅子さん。長年にわたるアナウンス歴と著名人との豊富な交遊を題材に「話力・人間関係力をアップさせ、自分と周囲の人々の幸福度を高める」話し方について講演してください。



楽しい講演になると思いますので、皆さん奮ってご参加下さい。

第6回会員親睦ゴルフコンペ = 報告 =

10月3日(土)「第6回JWIMA 会員親睦ゴルフコンペ」を埼玉県比企郡鳩山町の「石坂ゴルフ倶楽部」で開催しました。参加者は13名(4組)と少人数ながら、都心からも近く、美しく整備されたコースに皆大満足。会員同士の親睦を深めた1日でした。

新ペリアでのコンペなので、誰が優勝するか予想もできませんでしたが、優勝したのはやはり実力派のぺんてる(株)橋本昭彦さんでした。

次回の会員親睦ゴルフコンペに皆様のご参加をお待ち申し上げます。



お知らせ

総会のご案内

「第10回通常総会」は平成22年5月13日(木)午後5時から上野精養軒で開催します。例年のとおり総会終了後に懇親会を実施します。皆様のご参加を心からお待ちしております。

工場見学会のご案内

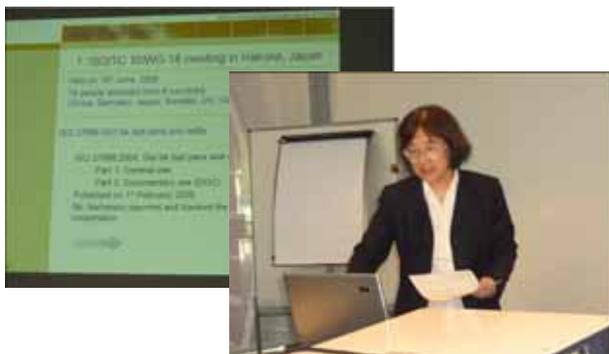
実施日は迫っていますが、11月17日(火)工場見学会を実施します。訪問工場は、JFEスチール株式会社「東日本製鉄所」、千葉市川崎町にある世界第5位の巨大製鉄工場です。続いてシャープ株式会社の「ハイテクノロジーホール」を訪ね、液晶画面と太陽光発電の先端技術に触れます。ご参加をお待ちします。

欧州筆記具工業会技術委員会に参加して

国際標準提案事業委員会 塩井恵子氏報告

我が国がリードするかたちで今年の夏に制定・発行されたゲルインキ・ボールペンの国際規格(ISO 27668)の国際規格制定活動は完了しました。

この活動でコンビナーを努められた西本洋二氏の希望もあり、10月初旬に開催された欧州筆記具工業会技術委員会で、我が国提案に協力して下さった皆様へ感謝を申し上げ、また、今後のISO活動に一層の協力をお願いしてまいりました。加えて、本年6月10日に、ISO/TC 10/WG 18 箱根国際会議が開催されましたので、この報告もしてまいりました。また、筆記具にも影響のある玩具規格や環境規格で新たな動きがあった模様で、この状況も視察してまいりました。



E W I M A 技術委員会の概要 10月7日

REACH について

筆記具は Article(最終製品)か、Substance(化学物質かその混合物で本体は単なる容器)か、という議論が昨年から続いているが、まだ公式の見解は出ていなかった。

CPSIA について

アメリカの法律であるが、特に子供用品にはバッチごとの第三者テストが求められるなど、メーカーの負担が大きい。実際に実施した例の報告はなかった。

CEN 活動 EN71-Part1(玩具の安全性-機械的、物理的危険)

2月に最終投票が終わり成立、施行は11月からの予定。特に警告表示が変更され、新玩具安全指令に準じた規格となっている。筆記具中、同指令が適応されるものと非該当なものがあるが、その判断は先送りされた。

ISO 活動 ISO/TC 10/WG 18

ゲルインキの ISO 規格制定に係る一連の協力について感謝の意を表し、引き続き協力いた

くようお願いした。ISO 規格の定期見直しの投票及び WG18 での審議結果を報告した。一部の規格で改正意見もあったが 14 件の定期見直しの最終投票はすべて「確認」であった。

ISO11540(ペンキャップの安全性)は2ヶ国から改正意見が出たものの、改正の背景やペンキャップ事故の詳細を教えてもらわないと効果が理解できないという意見が出て、投票どおりに「確認」としたことを報告した。

ISO12756(ボールペン用語の定義)および ISO14145-1(水性ボールペン:一般用)には日本から改正意見を出しており、すでにそれを盛り込んだ New Work Item Proposal(NWIP)を提出済みで現在投票中であることの概要を説明した。

PAH(多環芳香族炭化水素)についてドイツで学校用品を抜き取り検査したところ、重金属、フタレート、PAH 等が検出された。学校用品に対しては現在これらのものに規制はないが、この結果から規制を求める声が起こっているという報告と PAH についての説明があった。

RAPEX (EC 緊急通報システム)

2007 年から RAPEX に出た筆記具関連商品の摘発件数を事務局から報告した。重金属違反が多いが、防腐剤、ベンゼン、トルエン、フタレートなどで 2007 年 13 件、2008 年 32 件、2009 年(6月まで) 20 件で全摘発件数の 1.5% 程度を占める。

新玩具安全指令 2009/48/EC

2008 年末に制定、2009 年 6 月に発行された。第三者認証、適合証明書、CE マーキング、取扱説明書など多くの点で変更があったが、特に新たにトレザビリティが求められ、重金属規格が現行 8 元素から 17 元素 19 規格になる。新しい対象元素にはまだテスト方法が規定されておらず、CEN が CEN/TC52/WG5 で 2012 年末を目標に制定活動に入る。

フランス:環境ラベル

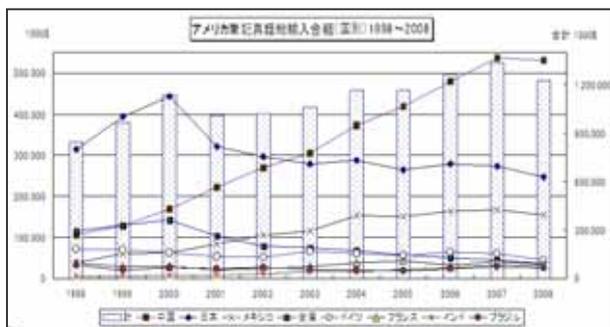
2011 年 1 月から実施予定。炭酸ガス排出量、天然資源消費度、自然環境への貢献度、製品の品質満足度を一つのラベルにそれぞれグレード分けして図表示し製品に貼付させる。日本のカーボンフットプリントよりさらに意欲的なものだが、それだけに実現性が疑わしいとの印象を深めた。

次回の欧州筆記具工業会技術委員会は 2010 年 2 月 1 日、フランクフルトメッセ会場で開かれる。

JWIMA発行 米国貿易統計2008より

2008年9月のリーマン・ショック以降、米国の消費マインドは激しく冷え込んだ。この第4四半期の後退で、01年以降、増加し続けた年間輸入額は10%近く落ち込んだ。

主要文具7品目の輸入総額は前年比9.2%減の10億4659万ドル(約11.6億円)だった。



輸入額の約6割を占めるボールペンは13.5%減で、中国▲10%、日本▲13%、メキシコ▲4%、独▲40%、仏▲27%と各輸出国の出荷は大きく前年を割った。中でも中国のボールペン輸出単価は下落の一途をたどり08年は0.161ドル、約15円に至った。

マーキングペン輸入額は5.2%と微増した。中国は6.7%増、日本は39%増と目立った。

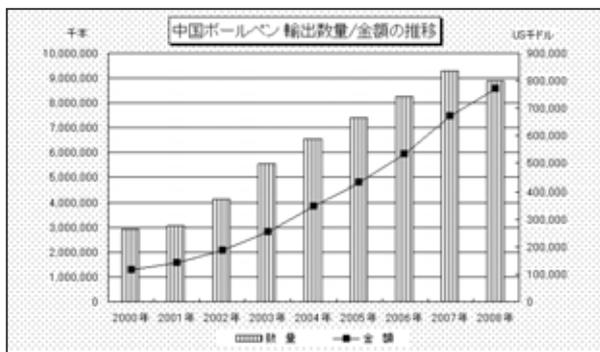
シャープペンシル輸入額は11.1%減少した。中国とメキシコ増、日本は▲25%と大きく後退した。

鉛筆輸入額は7.1%減だった。中国が約10%伸ばしたのに対してブラジル、インドネシア、メキシコが前年を割った。

米国08年第4四半期のショック以降の推移を月次で追ってみた。我が国の対米輸出額(主要筆記具及び部品)08年1-8月(確定)と09年1-8月(速報)の累計を対比すると09年上期は大幅に前年同期を割り込み、減少率は30.6%だった。

JWIMA発行 中国貿易統計2008より

2008年の中国主要文具8品目の輸出金額は前年比12%増の17億52770万ドルだった。成長率は前年の29%増より大幅にダウンした。中国製文具の輸出先は米国が4分の1を占めるが、その依存度は徐々に低下。一方、旧ソ連諸国のカザフスタン、キルギスとの取引を太くしつつある。



ボールペンは中国文具輸出の43%を占める。08年は金額で7億7009万ドル、数量で88億7812万本だった。08年は変化が見られ、金額で14.8%増加したのに対して数量で4.2%減少した。過去、金額と数量は同率で推移、08年に限って不均衡が見られた。中国メーカーが量から価値にシフトしようとしているのか、今後の推移を注視したい。

マーキングペンは9.5%増の3億1551万ドルで、前年の23%増から成長率を大きく後退させた。米、英、独が上位輸出先に変わりはなかった。単価は0.065ドルだった。

シャープペンシルは7.8%増の9518万ドルで、同じく前年の53%増から大きく後退させた。米、キルギス、日が上位輸出先というモザイク模様だった。単価は0.087ドルだった。

鉛筆は金額で11.1%増、数量で1.8%減だった。ボールペンと同じ傾向の量と額のアンバランスを見せた。米、独、英、伊が上位輸出先だが、その他の国が6割を占めた。地域別では欧州、アジア、北米、中南米、アフリカと並んだ。

統計資料をご希望者に提供しています。事務局までご連絡ください。
日本筆記具工業会 JWIMA 電話03-3891-6161